



あけまして
おめでとう
ございます

2020年



1年の計は元旦にあり

1年の目標は立てましたか。
今年の目標をしっかりと立てましょう。
今年1年、充実した年になりますよう
お祈りいたします。



令和2年 大村市成人式

日時 1月12日(日)

受付 12:30~
式典 13:00~

会場 シーハットおおむら
(メインアリーナ)



対象者 平成11年4月2日~平成12年4月1日
生まれの人

※市外に転出していて、案内状がない人も出席
できます。また、ご家族等の入場も可能です。

問合せ 社会教育課

☎53-4111(内線84-154)

1月の歳時記



1月は睦月(むつき)と呼ばれます。これは、親族が互いに往来し、仲睦まじく宴をする月であるからといわれています。また、稲の実を初めて水に浸す月を指す「実月(むつき)」から転じたという説もあります。

1月1日 元日(がんにつ)



年の始めを祝う日です。ちなみに元旦(がんとん)は元日の朝のことをいいます。午後には元旦という言葉は使いませんので間違っ使用わないように気をつけましょう。

1月2日 諸事の事始め

新年の商い初めの荷物を「初荷」。商店などでの店開きのセールを「初売り」。正月2日の夜に見る夢を「初夢」。年が明けて初めて書や絵をかく「書き初め」。これらは、1月2日の日に行われるのが恒例です。しかし、現代ではスーパーなども年中無休の店が増え、お正月の雰囲気も以前とは少し変わってきましたね。



1月15日 小正月(こしょうがつ)



元日を大正月というのに対して呼んだ名です。松の内に忙しく働いた主婦をねぎらう意味で「女正月」とも呼ばれます。年神様や先祖を迎える行事を行う大正月に対して、小正月は家庭的な行事を行う正月で、盆と同様に大切な節目でした。

大正月には門松を飾りますが、小正月には餅花(もちばな)などを飾ります。これは、豊作の予祝の大切な行事でした。そのため「花正月」ともいいます。

1月16日 藪入り(やぶいり)

江戸時代、商家などに住み込みで働いていた奉公人が主人から休暇をもらって親元などに帰ることができた日。この日は家族や親類に会い、墓参りをした後、思いっきり羽を伸ばしたそうです。落語の題材にもなっていますね。

1月20日 大寒(だいかん)

1月20日頃(2020年は1月20日)。および立春までの期間。小寒から数えて15日目頃。冬の季節の最後の節気。寒さがさらに厳しくなり、1年中で最も寒い時季です。小寒から立春までの30日間を寒の内といい、大寒はそのまん中にあたります。

寒稽古など、耐寒のためのいろいろな行事が行われます。また「寒仕込み」といって、寒気を利用した食べ物(凍り豆腐、寒天、酒、味噌など)を仕込むのに最もよい時期とされています。



1月6日 小寒(しょうかん)

冬至から数えて15日目頃、冬至と大寒の間。寒さが加わる頃という意味で、いわゆる「寒の入り」のこと。小寒から節分までの30日間を「寒の内」といい、寒風と降雪の時節で、寒さが厳しくなる頃。これから冬本番を迎えます。この日から「寒中見舞い」を出します。そろそろ、お正月の重箱や漆器などの片づけをしましょう。

7日の人日(じんじつ)にいただく、七草粥の準備もお忘れなく。

1月13日 成人の日(せいじんのひ)



成人の日

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日。1948年に制定されてから1999年まで1月15日でしたが、2000年に制定されたハッピーマンデー法によって、1月の第2月曜日に改正されています。